

町村をむすぶ

MIYAGI 宮城町村会だより

<https://www.miyagi-ck.gr.jp>

2025
10-11
Vol.529



町村会のうごき

共済事業アレコレ

町村通信 21 ～大衡村～

自立持続可能性自治体 “大衡村”

轟々と燃え盛る炎、響き渡る法螺貝。

七ヶ宿火まつりの夜を照らす「採燈大護摩供」。山伏の祈りとともに炎が立ち上り、翌日の「わらじで歩こう七ヶ宿」の安全と町民の無病息災を祈願します。

観る者を魅了する特別な体験がここにあります。

写真・文 提供／七ヶ宿町

第3回町村長会議・第2回政務委員会

10月6日、宮城県自治会館において、令和7年度第3回町村長会議及び第2回政務委員会を開催しました。

会議に先立ち、10月3日に村上英人蔵王町長、佐藤仁南三陸町長並びに田中學前大郷町長が令和7年度市区町村長総務大臣表彰を受賞されたことを報告し、出席された村上町長と佐藤町長に齋会長からお祝いを手渡しました。

町村長会議では、①令和7年度宮城県町村会一般会計歳入歳出補正予算(案)について、②令和7年度全国町村職員生活協同組合宮城県支部会計歳入歳出補正予算(案)について、③令和8年度宮城県町村会会費の賦

課徴収方法についての3議案について審議され、原案の通り決定されました。また、11月19日に開催される全国町村長大会の日程について説明を行いました。

会議終了後、引き続き政務委員会が開催され、「令和8年度県予算編成並びに施策に関する要望書」の審議を行いました。

今回の審議結果をもとに要望内容を修正し、11月10日、宮城県知事や宮城県議会議長に対し要請活動を実施します。

政務委員会の審議後、11月5日の任期満了で退任される、佐藤仁南三陸町長から挨拶をいただき、閉会しました。



総務大臣表彰を受賞された村上英人蔵王町長(右)



総務大臣表彰を受賞された佐藤仁南三陸町長(右)



災害共済事業加入推進事務説明会

災害共済事業加入
推進事務説明会

9月26日、宮城県自治会館において災害共済事業加入推進事務説明会を開催しました。出席した各市町村や一部事務組合の共済事務担当者に対し、公有建物・自動車共済事業、災害対策費用保険、総合賠償補償保険、非常勤職員公務災害補償保険、自治体委託業務等災害補償保険、職員任意共済保険、職員個人年金共済事業、全国町村職員生活協同組合の各共済事業の加入推進に向けた事業及び更新手続き等について説明を実施しました。

町
村
長
選
挙

任期満了に伴う大郷町長選挙(8月26日告示)が8月31日に投票票され、新人の石川良彦氏が当選されました。

大郷町長

石川 良彦氏
いしかわ よしひこ

●プロフィール

1952年 大郷町生まれ
1999年 大郷町議会議員(～2015年9月 通算4期)
2015年 大郷町議会議員(～2025年8月 3期目)
2025年 大郷町長(1期)※9月7日就任

みんなでつくる新しい『おおさと』

宮城県のほぼ中央に位置し、仙台市から車で三十分程度という交通アクセスに恵まれている我が大郷町です。気候も温暖で積雪も少ないなど、過ごしやすく住みやすい環境にあります。しかしながら本町は、少子高齢化に加え、地区毎の人口の偏り、空き家空き地の増加など、様々な問題を抱えております。その他、町が抱える問題を一つ一つ解決していくためには町民との対話が重要だと考えます。町民の思いに耳を傾け、どの世代でも生活のしやすい新しい『おおさと』を創り上げていきたいと思ひます。「大郷町に住んで良かった」「大郷町で子育てをした」と思っていただけ、町民が誇れるまちを目指します。

町村長視察研修

9月29日～10月1日の3日間、町
村長視察研修を実施しました。自立
的な自治体運営を実現するため、町
村の経営に求められる新たな視点を
得ることを目的に研修を実施して
おり、福岡県鞍手郡鞍手町及び山口県
周南市を訪問しました。

初日は、鞍手町役場を訪れ、岡崎
邦博鞍手町長から挨拶をいただいた
後、廃校を活用し、事業を展開して
る「くらて学園」について説明をいた
だきました。

鞍手町は、消滅可能性都市ワース
トランキングで福岡県1位となり、
「女性が消える町」とも表現されまし



周南市徳山駅前賑わい交流施設

た。そのような中、2015年に廃
校となった校舎を活用して、(株)く
らて学園の重松克則代表が、校舎を
活かしたコスプレイベントを開催し
たところ多くのコスプレイヤーが訪
れました。鞍手町では内閣府の地方
創生先行型交付金に「学校まるごと
アニメ事業」として応募し交付も決
定したこと、から、コスプレ会場、C
M、映画の撮影場所やイベントの開
催場所、テナント運営など多岐に利
用できる「くらて学園」を整備し、多
くの来訪者が訪れています。

説明後、「くらて学園」に移動し、
イベント会場などを視察しました。

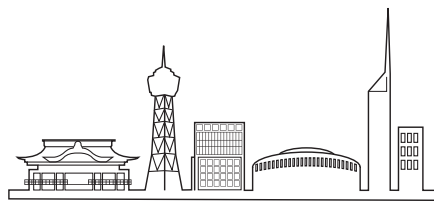
2日目は、山口県に移動し、秋吉
台にある秋芳洞を視察した後、周南
市徳山駅前賑わい交流施設を訪れ、
周南市の水素利活用事業及び徳山駅
前賑わい交流施設整備事業について
説明をいただきました。

周南市は化学製品製造会社が多
く、副生成物として水素が多く生産
されるため、周南市水素利活用計画
を策定し、地域水素サプライチェー
ンの構築や水素関連研究開発に対す
る支援など、水素社会に向けた先進
的な取り組みを行っています。

また、交流施設がある徳山駅前
は平成17年から整備構想が立上り、バ
リアフリー化や既存商店街への導線
見直しによる連携強化など、整備が進
められました。その後、平成30年に

旧徳山駅ビル跡に、周南市徳山駅前
図書館を併設する賑わい交流施設が
完成し、カルチュア・コンビニエン
ス・クラブ(株)が指定管理者になる
など、官民連携で施設を管理・運営
するほか、まちづくりプロジェクト
などを実施しています。説明後、施
設を視察しました。

3日目は、福岡タワーを視察後、
帰県しました。



市町村職員採用統一試験

9月21日に、宮城県自治会館及び
TKPガーデンシティ等を会場とし
て実施しました。

今回は初級(高校卒業程度)、中級
(短期大学卒業程度)、上級(大学卒
業程度)及び社会人経験の4区分の
試験を実施し、18町村3組合の応募
に対し、236名が受験しました。

町村会日誌

9月

▼4日

全国町村会理事会、
都道府県町村会長会
(全国町村会館) 齋会
長出席

▼21日

市町村職員採用統一
試験(宮城県自治会
館・TKPガーデン
シティ仙台ほか)

▼29日～10月1日

町村長視察研修(福
岡県・山口県)

10月

▼3日

宮城県知事に対する
推薦状伝達式(宮城
県自治会館)

▼6日

町村長会議、政務委
員会(宮城県自治会
館)

▼7日

ダム・発電関係市町
村全国協議会理事会
(全国町村会館) 小山
会長出席

▼9・10日

北海道東北六県町村
会会長会議(青森県)
齋会長出席

▼15日

全国山村振興連盟理
事会(全国町村会館)
保科支部長出席

▼29・30日

副町村長視察研修
(奈良県・和歌山県)

自立持続可能性自治体 大衡村

本村は、令和6年4月に民間の有識者グループ「人口戦略会議」において、北海道・東北地方で唯一の「自立持続可能性自治体」として区分されるなど、将来にわたり安定的な地域運営が可能になまちづくりを推進しています。

近年は、自動車や半導体関連企業を中心に多くの企業が集積し、工業の拠点として着実に発展しています。

移住・定住促進の取り組みにも力を入れており、若者世帯の住宅取得や三世帯同居を行う世帯には、住宅の新築や改修費の一部を支援する制度を創設し、空き家バンクの活用などを通じて、転入希望者に対する住環境の選択肢を広げています。

子育て支援についても、出産祝いや小・中・高校生への入学祝い金の支給、18歳までの医療費助成などのほか、今

年度より、赤ちゃんの健やかな成長と女性の健康づくりをサポートするため「葉酸サプリメント配付事業」を行うなど、切れ目のない支援体制を整えています。

併せて、住民の移動手段の確保を目的として、AIを活用したデマンド型交通「のらいん」が、令和7年4月より本格運行を開始しました。電話またはアプリ予約により自宅近くまで迎えに行く仕組みであり、高齢者の外出支援や高校生の通学手段としても利用されています。

今後も産業の発展とともに、誰もが笑顔で元気に安心して暮らし続けられる持続可能な地域社会の実現を目指し、各種施策を着実に推進してまいります。



今年度よりデマンド型交通「のらいん」が本格運行



親子連れで楽しめる「タカカツ万葉パーク」



新興住宅地「ときわ台南」

町村会の予定

11月



- 10日 宮城県知事及び宮城県議会議長に対する令和8年度県予算等の要請活動
令和8年度県要望に関する意見交換会
- 14日 行政課題研修Ⅲ
- 17日 東部(北海道東北・関東)地区町村会会長会議
全国過疎地域連盟第60回総会
- 18日 全国町村会理事会・都道府県町村会会長
- 19日 全国町村長大会
大会決議等の宮城県関係国会議員に対する要望実行運動
国会議員・知事と町村長との意見交換会
- 20日 全国水産業振興・漁村活性化推進大会
全国観光地所在町村協議会総会

12月



本会主催の行事等はありません。

共済事業アレコレ

個人年金共済について

ゆとりある老後生活のために、
「年金共済」をぜひご活用下さい。

個人年金共済は、公的年金だけでは老後が不安だと思われる方、近い将来のための蓄えとしたいと考えているための保険で、定年延長に対応した2種類のコースが設定されています。

1. 税制適格コース

加入資格は、掛金払込予定期間が10年以上ある方です。

2. 一般コース

加入資格は、掛金払込予定期間が1年以上ある方です。

※「税制適格コース」は老後の生活資金確保のため、「一般コース」は近い将来のための蓄えとして、ご活用いただくことをお勧めします。

※掛金は、月払1口2,000円(50口以内まで)、ボーナス払1口10,000円(50口以内まで)で、それぞれ自由に設定することができます。(ボーナス払のみでの加入はできません)

11月中旬から～1月5日まで新規加入者の募集を行っております。

詳しいお問い合わせは、団体担当者または下記までご連絡ください。